

8/27 「行政のしくみ」 参観学習

名森、牧、結の各小学校の6年生約170人が選挙・行政・議会について模擬投票や役場内を見学しました。

模擬投票では実際の記載台や投票箱を使い「自分の尊敬する人」の名前を書いて1票を投じ、開票結果の開示も行いました。

議会見学では議場に入り、議会の役割について説明を受けた後に、議員席や執行部席に座り議会の雰囲気を味わいました。

代表児童は「役場の中を初めてしっかり見て、こんなにたくさん課があると思わなかったです。建設にかかわる仕事に興味が沸きました」と話してくれました。



▲議会について学ぶ児童（結小学校）

9/8 ひと針ひと針、心をこめて

安八町老人クラブ連合会から、町内のこども園に手作りの雑巾約200枚が寄贈されました。この雑巾の寄贈は「地域社会に感謝の気持ちを」という思いを込めて毎年行われています。

高橋厚男会長は「次の代につないでいく気持ちで、心をこめてひと針ひと針縫いました。掃除をしてピカピカになった様子を見て、子どもたちの心も光って欲しいです」と述べられました。



▲高橋厚男会長（中央右）と説田哲夫副会長（中央左）

9/8 3人でも重たい！

牧小学校4年生がおばけカボチャの収穫を行いました。

このおばけカボチャは、遊休農地を有効活用しながら地域交流をしようと牧地区まちづくり協議会が牧小児童と一緒に6月に苗を植えたものです。

品種は「オータムゴールド」と「アトランティックジャイアント」の2種類で、50kg以上もあるカボチャもあり、児童たちは3人一組で協力しあって収穫したカボチャを運びました。

代表児童は「ハロウィンの行事としてこのカボチャでランタンを作るのが楽しみです」と話してくれました。



▲3人で協力して運びました

9/11 遺贈寄付に関する協定

株式会社大垣共立銀行と「安八町への遺言を活用した遺贈寄付に関する協定」の締結式が行われました。

この協定により、同行の支店などで町への財産寄付を遺言で希望する人には、遺言書の作成や執行などの相談・支援を行うほか、町は町民から相談があれば制度を紹介します。

同行の森田裕三常務取締役は「町民の皆さんに制度を知っていただき、遺贈寄付を活用していただけたら」と述べられました。



▲森田常務と堀町長